

第2回 魚津市立東部中学校運営協議会記録

- 1 日時 令和7年2月21日(金) 15:00～16:30
- 2 場所 東部中学校会議室
- 3 協議
 - (1) 開会 会長あいさつ
 - (2) 学校長あいさつ
 - (3) 協議（協議内容は別紙）
 - ・今年度の学校運営協議会実施報告
 - ・学校評価に基づく成果と課題
 - ・課題への対応
 - ・次年度の方向性について
 - (4) その他
 - (5) 閉会 副会長あいさつ

学校運営協議会の意見から

- ・授業参観や体育大会等で生徒の様子を見させてもらったが、「しっかりと育っている」と感じた。教員の努力もうかがえた。
- ・学習発表会でステージ発表を見た。「14歳の挑戦」の発表では、生徒が自分の人生を真剣に考えていることが伝わり、感動した。1年生も、職業について発表していたが、これもしっかりと考えていた。
- ・合唱祭を参観したが、本当にうまくて感動した。生徒たちは、しっかりと自分のことを自分で考え、決められるようになっている。
- ・家庭科の実習補助で何度も学校を訪れたが、生徒に接する度に感動したりびっくりしたりした。
- ・挨拶が素晴らしい。地域の行事に中学生が参加することがあるが、そのときも元気に挨拶をしてくれる。
- ・知人（保護者）が「子どもが学校に行くのが楽しいと言っている」と言っていた。
- ・部活動の時間を短く感じている生徒もいるようである。
- ・地域の子どもたちがスマホを持っている。コミュニティセンターのお茶サークルに来る子どもたちも、茶菓子をスマホで撮影している。それがいいことなのか、悪いことなのか判断が付かない。子どもがもつものではないと思う。
- ・未成年者が、SNSを介した犯罪に加担させられている事件が起きた。「闇バイト」の問題も心配である。機を捉えての指導が必要である。生徒だけでネットについて話し合いを行ってもよいかと思う。答えは子どもがもっている。子どもの中にどんな問題があるのか、子どもがどのように把握しているのかを捉え、本音を拾い上げて行くことが大切である。これからの子どもはスマホの中で生きていくし、そのスキルも必要である。時と場に応じた指導を心掛けてほしい。
- ・学校運営協議会を通して、学校が抱える課題を聞かせてもらい、考えさせられた。生徒には、自己管理能力を身に付け、健康、勉強、SNS等にしっかりと向き合い、望ましい生活ができるようになってほしい。

次年度への改善策

- ・SNSの問題については、情報モラル教育の実施、外部講師を招いての「SNSトラブル防止教室」の開催等を、今後もしっかりと継続する。また、家庭でのルールづくりを徹底できるよう、保護者への啓発を進める。
- ・よりよい生活や健康保持のための「自己管理能力」の育成に力を入れる。